俳句

萩原朔太郎

青空文庫

○

五月幟立つ家家の向うは海

○

暮鳥忌

磯濱の煙わびしき年のくれ

笹鳴

笹鳴の日かげをくぐる庭の隅

笹鳴や日脚のおそき縁の先

○

天城ごえ伊豆に入る日や遅櫻

青梅に言葉すくなき別れ哉

○

青梅（あをうめ）に言葉すくなき別れかな

○

冬日くれぬ思ひおこせや牡蠣の塚

○

我が心また新しく泣かんとす
冬日暮れぬ思ひ起せや岩に牡蠣

○

ブラジルに珈琲植ゑむ秋の風

枯菊や日日にさめゆくいきどほり

○

プラタヌの葉は散りはてぬ靴磨き

冬さるる畠に乾ける靴の泥

○

虹立つや人馬にぎはふ空の上

○

人間に火星近づく暑さかな

秋さびし皿みなわれて納屋の隅

枯菊や日日に醒めゆく憤り

虹たつや人馬にぎはふ空の上

『遺稿』より

我が齢すでに知命を過ぎぬ
枯菊や日日にさめゆく憤り
若き日の希望（のぞみ）すべて皆空しくなりぬ
秋さびし皿みな割れて納屋の隅
嗚呼すでに衰へ、わが心また新しく泣かむとす
冬日くれぬ思ひ起せや岩に牡蠣（かき）
故郷に歸れる日、利根の河原をひとり歩きて
磊落と河原を行けば草雲雀
わが幻想の都市は空にあり
虹立つや人馬賑ふ空の上
隱遁の情止みがたく、芭蕉を思ふこと切なり
藪蔭や蔦もからまぬ唐辛子
晩秋の日、湘南の或る侘しき海水浴場にて
コスモスや海少し見ゆる邸道

青空文庫情報

底本：「萩原朔太郎全集　第三巻」筑摩書房
　1977（昭和52）年5月30日初版1刷発行
　1986（昭和61）年12月10日補訂版1刷発行
※底本の解題によれば、この作品には、「驢馬」「句帖」などに挿入して発表されたものなどが収められています。
入力：kompass
校正：小林繁雄
2011年6月5日作成
2018年10月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

俳句

萩原朔太郎

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/